

平成 30 年 2 月 1 日

「斜面動態モニタリングデータに基づく崩壊発生予測研究小委員会」
の委員の公募

研究調査部長 笹原克夫

標記の研究小委員会の委員として活動いただける方を公募いたします。

1. 小委員会名：斜面動態モニタリングデータに基づく崩壊発生予測研究小委員会
研究調査部の所掌する小委員会です。
2. 活動期間：平成 29 年 4 月～平成 34 年 3 月（5 年間）
3. 経費：各自で必要な分を負担することとします。現時点で学会として特別な予算は準備していません。
4. 委員：公募。地すべり学会員及び非会員のいずれも可とします。ただし下記の「活動内容」や「立ち上げの経緯」にあるように実斜面ないしは模型斜面の崩壊時の変位や地下水等のデータを既に所有していることが条件です。なお平成 28 年度末に終了した地すべり学会研究助成委員会「斜面モニタリング技術を用いた危険度評価手法に関する研究委員会」のメンバーは、この委員会で実施した実験データを使用できることとしますので、今回の研究小委員会の委員の条件を満たします。
5. 活動内容：委員又は委員の所属機関が所有する斜面崩壊時の計測データを用いた、斜面崩壊発生予測のための解析を行い、年に数回開催する小委員会でその報告や、解析方針や結果に関する議論を行います。

6. 立ち上げの経緯

平成 28 年度末に終了した地すべり学会研究助成委員会「斜面モニタリング技術を用いた危険度評価手法に関する研究委員会」では 2 回の模型実験を実施しましたが、データの解析（崩壊発生予測）を行うに至っていません。このフォローアップを行うために「斜面動態モニタリングデータに基づく崩壊発生予測研究小委員会」を、研究調査部の下に立ち上げ、上記の模型実験のみならず、実斜面ないしは模型実験のデータを所有するメンバーが集まって、崩壊発生予測のためのデータ解析を行う予定です。これにより崩壊発生予測の技術の普及を図ります。

7. その他

平成 28 年 8 月 22 日に開催された平成 28 年度本学会第 3 回理事会にて報告された IPL 新規課題(下記)の活動の一環でもあります。この課題は平成 28 年 11 月 17 日の ICL-IPL UNESCO 会議で新規課題として採択されました。この課題の活動に大学教員だけでなく公的機関や民間の技術者の参画を促します。

題名：Time prediction of an onset of a rainfall-induced landslide based on the monitoring of the deformation and the groundwater level in the slope (2017-2021)

メンバー：榎田充哉副会長（代表）、笹原克夫（高知大学）他

期間：2017年－2021年

8. 委員の公募期間：平成30年2月1日～3月30日

9. 問い合わせ及び連絡先

笹原克夫（高知大学）

高知大学教育研究部自然科学系（山地保全学分野）

〒783-8502 高知県南国市物部乙200

E-Mail sasahara@kochi-u.ac.jp TEL 088-864-5341

なお委員公募の際は、① 氏名、② 所属、③ メールアドレス、④ 電話及びFAX番号、⑤ 住所、を明記し、題名を「地すべり学会崩壊発生予測小委員会の委員公募：(応募者の氏名)」として、メールにてお送りください。